

ひんは赤ちゃん



(六か月) 笠井裕剛君

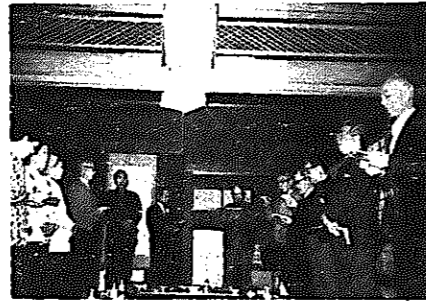
父=誠 母=恵美子(戸頭)
名前の由来=祖父の尊敬する人の一字と自分の好きな一字をとって付けました。名前のように強く育ってほしい。



袖山久美ちゃん (七か月)

父=忠夫 母=晴美(左=門小路)
名前の由来=呼びやすく、女の子らしい名前と思考えました。身も心も美しく、素直で良い子になってもらいたい……。

毎週水曜の夜七時。ここ白井の町・伝誓寺から力強い詩吟が聞こえてきます。今晩は、五十年の吟し納め。得意の詩を口づさみながら、さんさんご会員が集まり、広間の、ストロブも赤赤とたかれより一層詩吟会的情緒をかもしだします……。



同会は「健康増進、人と人との親睦」を目的に昨年二月に発会。現在会員は十六人。女性も三分の一を占め、和気あいの会です。も「練習会の翌朝はスッキリします。確かに健康にはいいですネ」と話しています。どうです、あなたも入会してみては——。

グループ登場

曉風会

詩吟が健康増進に一役

もともと白井地区には大正四年の吟し納め。五年ごろにも詩吟の会があったといわれ、昔の青年時代を思い出しながら吟じている人もあるとか……。

また、婦人に入会の動機をたずねると、異口同音に「美容? と健康のために——」という返事。新田丈治会長

後藤まさの 国宝級になって人間先が知れた 吉川末吉 茶の友が炬燵に笑い置いて行き 長井徳市 純心な瞳に邪心うろたえる 本間吾郎 パーゲンセールでのぼせて買った後で悔い 塩田英司 浮気などあなたに出来ぬと妻の自負 藤崎 実 こむバスのロングヘアに男寄り 中村尚治 安楽死認めず生も保証せず

市民文芸

川柳

保科綾子 旅の宿消えては浮かぶ母の顔 成田吉子 腹の虫が泣いた夕鯛の匂う道 庭山久作 宝くじ人の当たった店面白い 今井七郎 十八歳に戻れるアルバム出して見る 高橋祐四雄 笑ったら呆けると龍の眼が涙む 鶴巻清男 参観日教育ママがのし歩き 吉川 彰 宝くじ外れて身にしむ不況風 関根勝也 大喰い居なくて淋しい炊飯器 今井八重子 怒鳴って何処か丸みが出る小言 大井義雄 笑む孫が我が家とます宝もの 山崎 甲 物価高チランの安住を主婦競い

児童手当を振り込みました

二月五日付けで、児童手当を受けている皆さんの口座に支給額二万円(十月から一月分)を振り込みました。なお、住所など変更がある場合は、福祉係へ届けてください。

非行防止地域懇談会

高校生を持つ父兄を対象に

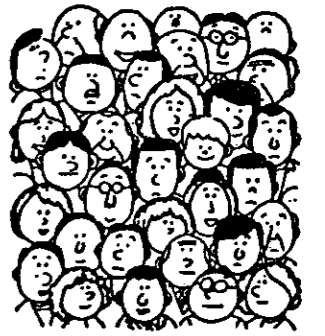
(とき)	(対象地区)	(会場)	(開催時間)
▷2月10日	庄瀬地区	(庄瀬中学校)	午前9時30分
▷2月12日	大郷・鷲巻地区(大鷲中学校)		午前9時30分
▷2月18日	白井地区	(白井中学校)	午後1時30分
▷2月20日	白根・茨曾根・根岸地区	(教育センター)	午後1時30分

持ち主やん



このコーナーに掲載の落し物は、白根警察署(電話二二二)に保管してあります。昨年の十二月分から

- ▼12月24日 ①手さげ袋(一、九五五円入り) ②水道町 ▼12月24日
- ①婦人用腕時計 ②五六の町 ▼12月25日 ①財布(五、五〇〇円入り) ②魚町
- ▼12月31日 ①男性用腕時計 ②保坂 ▼12月31日 ①現金(一〇、〇〇〇円以上) ②諏訪木
- ▼1月17日 ①メガネ ②掘掛



みんなの広場

ここからは、市民総参加で作るページです。意見、要望、提案、話題、文芸、こんにちわ赤ちゃんなど、ご自由にお寄せください。電話でもけっこうです。



道徳心はどこへやら

一市民

雨降りのある日、中央通りのヤマキチ商店停留所でバス待ちをしていると、一見紳士風の人が雨もあたらないというのに、かさをさしたまま私の前に、立っていました。「どういんだこの人——」と思っていると、冷たいものが私の頭に一滴、二滴……。それでもまだ、たまたまとはしません。あまりの無神経さに私は「しずくが頭に落ちていたんだがネ」と注意をうながしました。

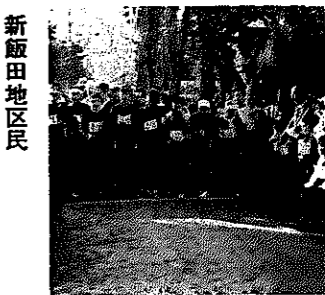
まさかおどろ

楽しさがいっぱい

庄瀬地区芸能祭



一月十八日雪降る中、地区あげての芸能祭が庄瀬小体育館で行なわれました。同行事も今年で二年目。すっかり地区の人たちに定着したようです。歌あり、踊りありプログラムもボリュームいっぱい。会場につめかけた約千人の人たちは、楽しそうに冬の一日を過ごしていました。



新飯田地区民

元日マラソン大会

この日は、初めての行事とあってみんな大張り切り。百四十人余りの参加者は午前九時、年齢に応じ四コースに別れて、諏訪神社をいっせいにスタート。楽しい行事がまた一つ同地区にお目見えしました。

中学女子六人制バレーボール選手権大会

十五日白根高校で行なわれた同大会は、白根バレーボール協会の主催によるもの。県下でもレベルの高い大会といわれ、今回も、魚沼の倉俣中や東浦原の上川中など二十校が出場。結果は吉田中(西浦原)が優勝しました。



十八世紀半ごろ、白根の飲茶街の歌謡に「酒は五十鳥、魚は白根」という一節がある。これは潟沼に産する淡水魚が商品として流通していたことを伝えている。

白根のおいたち

このような時代に、良寛と親交のあった有願がいた。元文二年(一七三七)に代官島新田の名主、田沢家に生れ仏門に入り行脚周遊し、中年になって故郷に帰り、田面庵(新飯田・現在は円通庵)に住み東所(岫)隠居と号した。

(11)

と詠じた八原漢詩(桃花)新飯田は桃の栽培が著名であった故人(有願。水東の頭(獨頭)あるいはまた、この里の桃の盛りに来てみれば流れにうつる花の紅とも読みました。有願はこれにかえして——ふる里は桃の林に牛の子の遊ぶのみにてみな耕せると詠んだのです(現在、円通庵に歌碑が建てられています)また、釣りをして河岸にうかぶを得たり一竿に古古のうろこあり掌中にあり、たなごころに活潑たり將に鮮を割かんとするのときありともうたいました八原漢詩